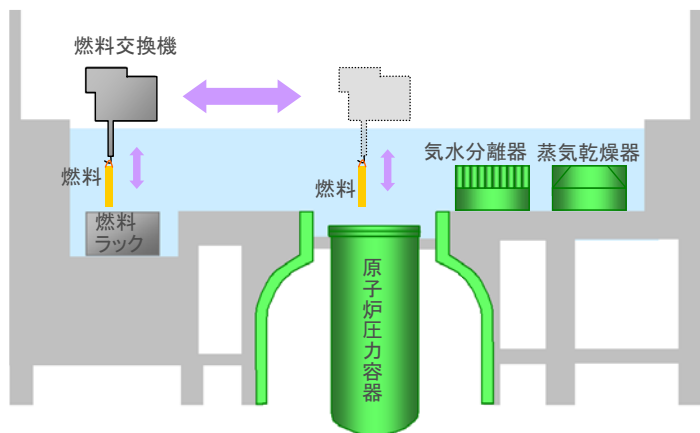
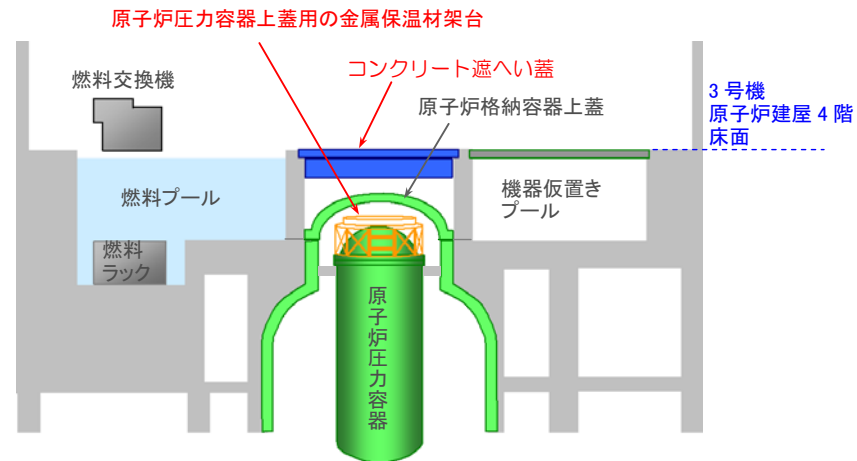


原子炉压力容器上蓋の金属保温材架台の概要および火災発生当時の現場の作業状況について

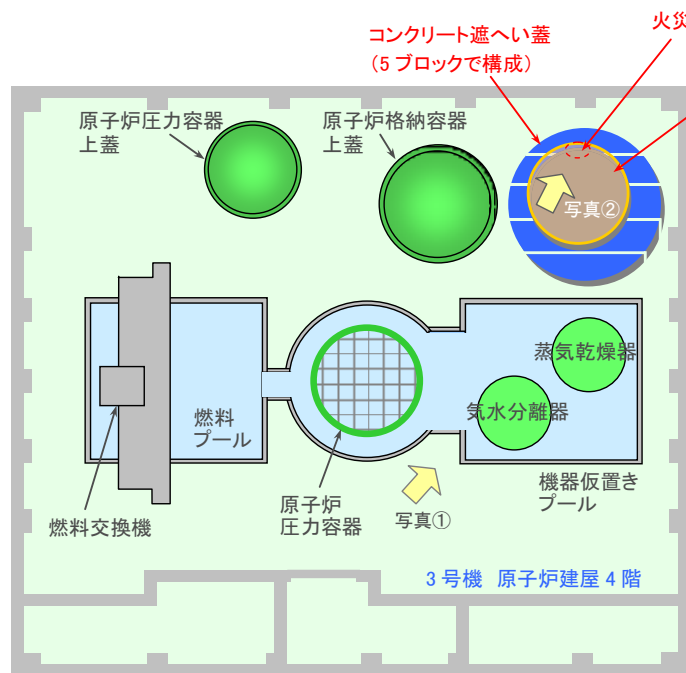


【定期検査中の原子炉の様子】

定期検査時には、燃料交換を行うため、原子炉压力容器上部や機器置きプールに水を溜め、燃料や原子炉内部の蒸気乾燥器等の構造物を水中で移動できるようにします。
取り外した上蓋や金属保温材は、4階の空きスペースに移動・保管します。



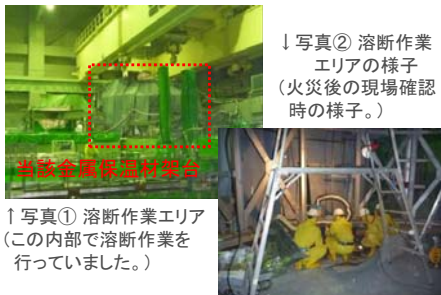
【通常運転時の原子炉の様子】



【定期検査中の原子炉建屋 4階の様子(上から見た様子)】

原子炉建屋 4階のスペースを有効に使用するため、取り外したコンクリート遮へい蓋の上に原子炉压力容器上蓋用の金属保温材を仮置きしていました。

溶断作業は、コンクリート遮へい蓋や原子炉建屋 4階床面に溶断時の金属屑が落ちないように、コンクリート遮へい蓋の上にブリキ板を敷き、その上に金属屑の受け皿を置き、耐火シートで周囲を覆った上で、作業を行っていました。



【原子炉压力容器上蓋用の金属保温材架台の概要】

【原子炉压力容器上蓋用の金属保温材架台とコンクリート遮へい蓋の位置関係】